

ごあいさつ

当校のホームページをご覧くださいありがとうございます。

令和8年度も引き続き校長を務めます瀧澤琢也(たきざわ たくや)でございます。

当校は、明治44年に南蒲原郡立の三条商工学校として開校いたしました。その後、郡立から県立となり、県立三条商工学校、戦時中は県立三条工業学校、昭和23年に県立三条実業高等学校、そして、昭和40年には現在の県立三条商業高等学校となり、令和8年度で創立百十六周年を迎える、歴史と伝統ある学校です。

現在、約320名の生徒が、諸先輩方が築いてこられた良き伝統を受け継ぎ、礼儀正しく、学習や部活動、また生徒会活動等に前向きに取り組んでいます。

当校の総合ビジネス科では、「地域」、「国際理解」、「コミュニケーション能力」の3つのキーワードを中核にして特色化、魅力化を図り、社会のニーズに合ったビジネス教育を中心に多彩なカリキュラムで学ぶことができます。

校長として、これまでの伝統を引き継ぎながら、以下のことを踏まえ、引き続き「社会に開かれた学校づくり」に邁進していきます。ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

1 学校教育目標

- 主体的に学ぶ態度を身につけ、地域発展に寄与する実践力を育むこと【地域】
- 多様性を尊重する態度を身につけ、自他を大切にする心を育むこと【国際理解】
- 社会性等の向上を図り、円滑な人間関係を構築する力を育むこと【コミュニケーション能力】

2 学校経営ビジョン

- 授業改善等により、生徒の「主体的・対話的で深い学び」を充実させ、自己実現に努める。→「全国教員研修プラットフォームPlant」の活用
- 県内外の先進的な取組、外部と連携した事業等を取り入れ、専門教育の充実に努める。
 - 電子黒板、i-pad等ICT活用の推進及び学びの保障
 - 地域連携の推進及び地域への提案、オンライン活用や情報発信(企業見学、インターンシップ、デュアルシステム、商業科目「観光ビジネス」、「商品開発と流通」等、「総合的な探究の時間」)
 - 「総合的な探究の時間」の工夫改善、内容の充実
 - 国際理解教育の推進
北東アジア圏諸国の高校との国際交流授業、国際理解のための出前授業等
- 生徒情報の共有、保護者や関係機関等と連携強化により、安全・安心な学校の組織体制を構築する。→組織的な情報共有と支援策検討、教育相談活動の充実
- 週休日等における業務の精選、効率化を進めるなど、本校の働き方改革を進める。
 - 一部活動活動状況や自己の業務についての振り返り等、部活動のあり方について検討
 - 統合型校務支援システムの活用、分掌の見直し等

3 校長として目指す学校像

- 自身を大切にするとともに、他者を思い遣り、敬う心や態度を育む学校
- 自ら進んで学ぶ力、及び多様性や国際性を涵養する学校
- 地域から愛され、地域とともに生徒の成長を支援する学校

4 学校目標のために、校長が必要と考える教師像

- 生徒や保護者、地域の声を真摯に聴く教師
- 根拠(法的なものなど)をもとに、指導や対応を行う教師
- 常に、教科指導や生徒理解などに係る研鑽を積む教師
- 主体的・対話的で深い学びに係る指導を実践する教師
- 同僚性を発揮できる教師
- リスクマネジメント、ダメージコントロールを意識する教師



令和8年4月1日
新潟県立三条商業高等学校
校長 瀧澤 琢也